

# 京都新祝祭管弦楽団 第10回定期演奏会

指揮 湯浅 篤史

ピアノ 塩見 亮

ブルックナー 交響曲第7番 原典版  
A.Bruckner : Symphony No.7 in E major Original Version

ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番『皇帝』  
L.v.Beethoven : Piano Concerto No.5 in E-flat major op.73 "Emperor"

2025.8.31 (日) 14:00開演 (13:15開場)

前売 ¥2,500 / 当日 ¥3,000 (全席自由) \*未就学児の入場はご遠慮ください。

電子チケット コードの読み取りだけで入場できる、便利なチケットです。  
QRコードから手数料無料で購入できます。ぜひご利用ください。

## チケット取扱

- ・京都コンサートホール ☎075-711-3231
- ・チケットぴあ [Pコード 300059] (セブン-イレブン、ファミリーマートで購入可能)
- ・十字屋三条本店APEX ☎075-254-3750
- ・ドルチェ楽器大阪本社 ☎06-6377-1117
- ・VIRTUOSO VIOLINS ☎075-754-8496
- ・アメリカヤ楽器店 ☎075-441-2341
- ・ワイングローリアス ☎06-4791-0808
- ・Dufam(デュファム) ☎06-6676-8150



## 京都コンサートホール 大ホール

京都市左京区下鴨半木町1番地の26 ☎075(711)2980  
京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番または3番出口 南へ徒歩5分

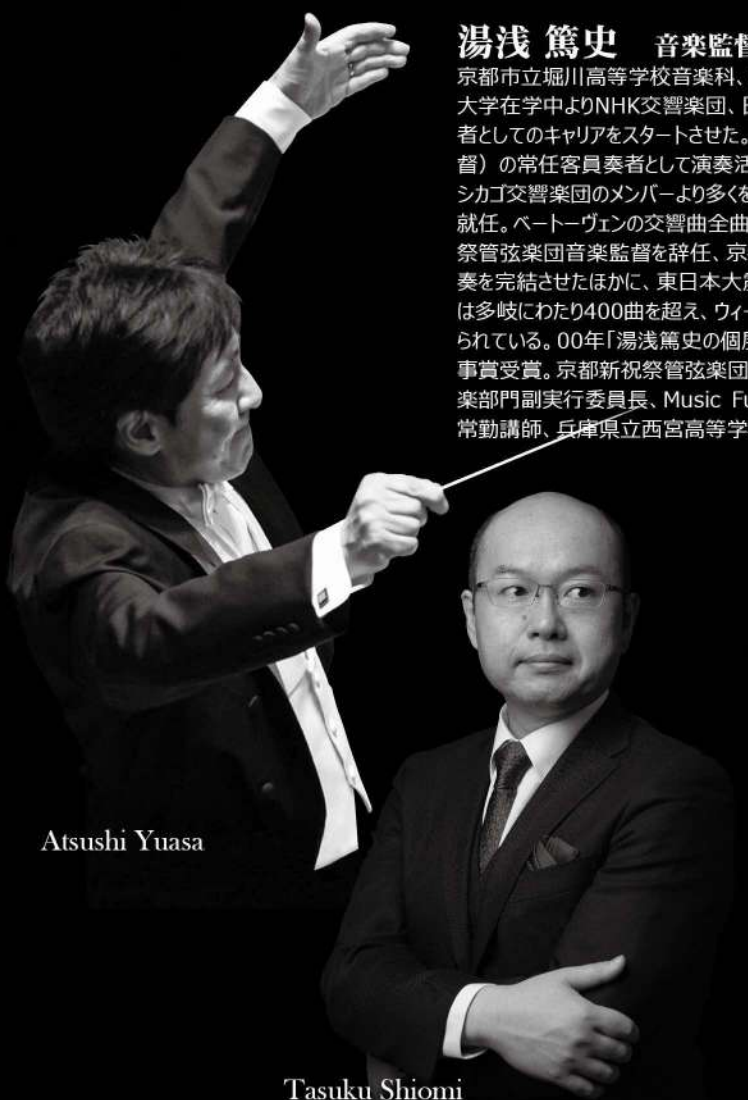
主催：京都新祝祭管弦楽団

Music Fusion in Kyoto音楽祭連携事業

特別協賛：三洲電線株式会社 / 株式会社マイティワイン

協力：株式会社十字屋 三条本店APEX / 株式会社ドルチェ楽器

お問合せ 藤田090-8883-1337 / 西村080-1429-4837(チケット) / kyoto.shinsyukusai@gmail.com(京都新祝祭管弦楽団)



Atsushi Yuasa

Tasuku Shiomi

## 湯浅 篤史 音楽監督／指揮

京都市立堀川高等学校音楽科、京都市立芸術大学でヴァイオリンを専攻した後に、東京音楽大学でトロンボーンを専攻し卒業。大学在学中よりNHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など在京のオーケストラをはじめ、全国各地の楽団に客演しプロ奏者としてのキャリアをスタートさせた。1989年の楽団創設時より11年にわたりオーケストラアンサンブル金沢（故岩城宏之音楽監督）の常任客員奏者として演奏活動に従事し数多くのコンサートやレコーディングに参加した。1998年～99年米国シカゴに留学、シカゴ交響楽団のメンバーより多くを学び帰国後指揮活動を開始する。2006年、京都新祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ベートーヴェンの交響曲全曲演奏を完結させる他、国内外で活躍する一線級のソリストとの共演を重ねる。2012年、京都新祝祭管弦楽団音楽監督を辞任、京都新祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ブラームスの交響曲、協奏曲の連続演奏を完結させたほか、東日本大震災復興支援演奏会を数多く指揮し継続中である。オーケストラ、アンサンブルなどの編曲作品は多岐にわたり400曲を超え、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団プラスアンサンブルなど、世界中の演奏家によりコンサートに取り上げられている。00年「湯浅篤史の個展」を開催、好評を博す。第26回京都芸術祭京都新聞社賞、第35回京都芸術祭京都府知事賞受賞。京都新祝祭管弦楽団音楽監督、名古屋プラスアンサンブル音楽監督、関西トロンボーン協会副会長、京都芸術祭音楽部門副実行委員長、Music Fusion in Kyoto音楽祭教育プログラムディレクターの他、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師、兵庫県立西宮高等学校音楽科特別非常勤講師を務め、多くの後進の指導にあっている。

## 塩見 亮 ピアノ

京都市立堀川高等学校音楽科（現京都市立京都堀川音楽高等学校）、東京藝術大学音楽学部を経て渡独、マンハイム音楽大学大学院研究課程室内楽・歌曲研究科、芸術家育成課程、演奏家育成課程（いずれもピアノ専攻）をそれぞれ最優秀で修了、ドイツ国家演奏家資格取得。これまでにピアノを市川直子、丸山博子、矢部民、松尾奈々、Paul Danの各氏に、室内楽をPaul Dan、Susanna Rabenschlagの各氏に師事。第47回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部1位。平成19年度平和堂財団芸術奨励賞、2008年度パロックザール賞、平成24年度大津市文化奨励賞、第24回、第32回京都芸術祭京都府知事賞、第38回京都芸術祭特別賞ほか受賞多数。ソリストとして、国内外におけるリサイタルやオーケストラとの共演も数多いが、特に室内楽の分野においては、古典～近代の主要なレパートリーだけでなく、Duo Schlügelzeug、Trio Rintonare、Ensemble Vitraのメンバーとして、委嘱作品を含む現代作品も精力的に取り上げている。また、Ensemble Vitraを中心に編成される「アルテアチェンバーオーケストラ」では、第3回公演より全てのコンサートにおいてピアノ協奏曲（弦楽合奏版）のソリストを務める。他にもTVやラジオへの出演など、その活動は多岐に渡り、共演者から厚い信頼を得ている。現在は京都市立芸術大学音楽学部准教授、相愛大学音楽学部非常勤講師として後進の育成にも力を注いでいる。

## 京都新祝祭管弦楽団

2012年、プロ奏者、アマチュア奏者、音楽を学ぶ学生らを中心に、京都に所縁のあるメンバーによる混成のオーケストラとして創設された。創立時より湯浅篤史が音楽監督を務める。若いメンバーがプロオーケストラのベテラン奏者よりオーケストラのノウハウを多角的に学び、同じステージで実践していくというアカデミックなスタイルを基本に、オーソドックスな作品から様々な演奏スタイルを習得し、スタンダードなレパートリーを着実に広げている。自主公演においてはブラームスの交響曲と協奏曲をツィクルスとして連続演奏し完結させた他に、東日本大震災の被災者のための復興支援演奏会を継続して開催してきた。2019年、初の海外公演をプラハ市にて開催し、復興支援のための委嘱作品「鏡風」～独奏トロンバートを伴うオーケストラのための～（2018）》（作曲：十河陽一、トロンバート：北村源三）を国外初演した。また2024年開催の第9回定期演奏会において「天華地鳴」～オーケストラとKOBUDO～古武道～のためのトリプルコンチェルト～（作曲：十河陽一、京都新祝祭管弦楽団委嘱作品）を初演し注目を集めた。世代や立場を超えてオーケストラを愛するメンバーが集い、日本を代表する古都京都より発信する音楽のメッセージは多くの人々から注目されている。第37回京都芸術祭音楽部門京都府知事賞受賞。コンサートマスター古川葵、アシスタントコンサートマスター桐山敏明。<第10回定期演奏会出演予定首席奏者> 杉江洋子(2ndVn) 田代 直子(Va) D. リッチャー(Vc) 西口勝(Cb) 和久井 穂波(FI) 藤田一之(Ob) 河野泰幸(CI) 井村裕美(Fg) 水無瀬一成(Hr) 福田裕司(Tp) 矢巻正輝(Tb) 山口真理子(Tub) 中谷満(Timp)



Kyoto New Festival Orchestra

## 京都新祝祭管弦楽団コンサート ご案内

### 第39回京都芸術祭音楽部門公演「華麗なる協奏曲の饗宴Vol.3」

2025年9月7日(日)14時開演 京都府立府民ホール アルティ

F.メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64／桐山 紫花(Vn.)  
F.メンデルスゾーン ピアノ協奏曲第1番 ト短調 作品25／木下 裕美子(Pf.)  
C.ライネッケ フルート協奏曲 ニ長調 作品283／柴田 真由美(Fl.)  
L.v.ベートーヴェン ピアノ協奏曲第4番 ト長調 作品58／山下 彩恵(Pf.)

管弦楽：京都新祝祭管弦楽団 指揮：湯浅 篤史

#### ●お問い合わせ

kyoto.artfestival.music@gmail.com(京都芸術祭音楽部門実行委員会)

### 「京都新祝祭管弦楽団 第5回特別演奏会」

2026年3月1日(日)14時開演 京都府立府民ホール アルティ

G.ビゼー 交響曲 ハ長調  
L.リーバerman ピッコロ協奏曲  
M.ラヴェル ピアノ協奏曲 ト長調  
M.ラヴェル 組曲「マ・メール・ロフ」

指揮：湯浅篤史 ピッコロ：和久井 穂波 ピアノ：小林 紗代子

#### ●お問い合わせ

kyoto.shinsyukusai@gmail.com(京都新祝祭管弦楽団)